

岩手県感染症週報

平成16年第28週（7月5日～7月11日）

岩手県結核 感染症情報センター

第28週の概要

1類感染症
2類感染症
4類感染症
5類感染症

患者発生 の報告はありま
せんでした。

3類感染症

- 盛岡地区で2例、一関地区で1例、釜石地区で1例の計4例の報告がありました。盛岡、釜石地区では、家族内での感染が確認されています。

5類感染症（定点把握対象疾患）

- 全国的な流行となっている咽頭結膜熱は、県内でも依然として流行が続いています。前週まで患者数が多かった盛岡、久慈地区ではやや減少したものの、前週患者数の報告のなかった花巻、北上、宮古地区から患者発生 の報告がありました。この週に警報値（定点当たり患者数1.0人）を超えている地区は、盛岡、花巻、北上、水沢、久慈の5地区です。

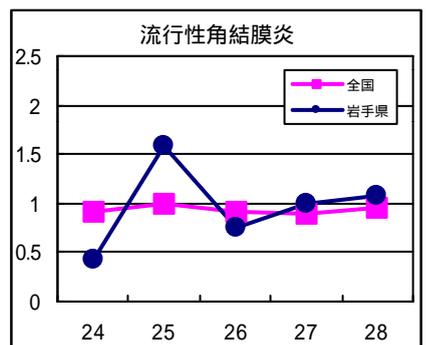
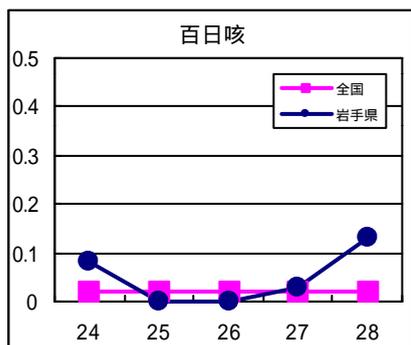
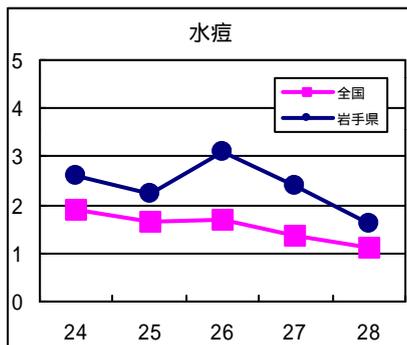
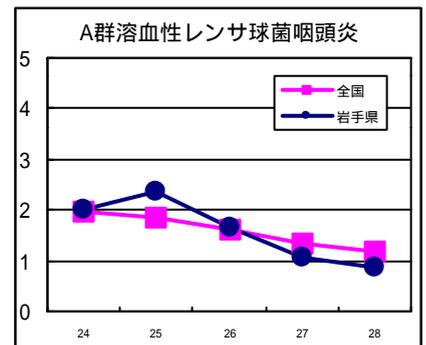
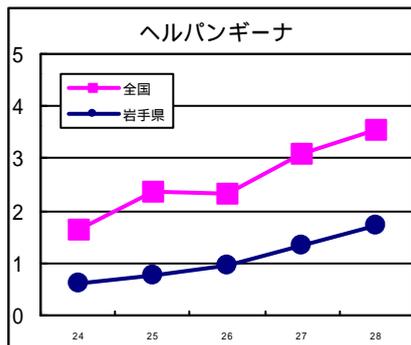
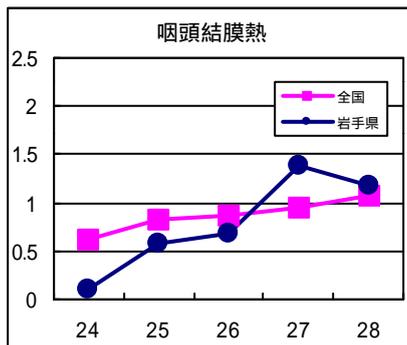
県内では、咽頭結膜熱の他にも夏かぜが流行しており、環境保健研究センターの病原体検査では、咽頭結膜熱と同じ種類のアデノウイルスが多く検出されています。両疾患とも今後さらに流行が続くものと思われるので、手洗いやうがいの励行など、十分な感染予防対策が必要です。

- ヘルパンギーナは久慈、二戸地区で患者数が増えており、両地区とも警報値（定点当たり患者数6.0人）を超えています。ヘルパンギーナも咽頭結膜熱と同じく、病原体が便とともに排泄されるため、特に手洗いが感染予防のうえで重要です。

- 百日咳は、一関地区から1例、宮古地区から4例の報告がありました。宮古地区では4例のうち3例が20歳以上の患者であり、今後の動向が注目されます。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		24	25	26	27	28		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0	0	0		
咽頭結膜熱	岩手県	0.11	0.58	0.68	1.39	1.18	→	
	全国	0.61	0.83	0.87	0.95	1.08		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	2	2.37	1.66	1.05	0.87	↘	
	全国	1.98	1.85	1.62	1.33	1.17		
感染性胃腸炎	岩手県	1.76	1.71	2.05	1.82	1.87	→	
	全国	4.51	4.23	3.68	3.27	3.12		
水痘	岩手県	2.61	2.24	3.11	2.39	1.61	↘	
	全国	1.91	1.67	1.7	1.35	1.11		
手足口病	岩手県	0.13	0.03	0.11	0.11	0.13	→	
	全国	0.4	0.54	0.6	0.85	1.06		
伝染性紅斑	岩手県	0.66	0.61	0.63	0.53	0.34	↘	
	全国	0.52	0.65	0.63	0.58	0.57		
突発性発疹	岩手県	0.42	0.55	0.66	0.58	0.71	→	
	全国	0.76	0.84	0.79	0.85	0.84		
百日咳	岩手県	0.08	0	0	0.03	0.13	↗	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02		
風疹	岩手県	0	0	0.03	0	0	→	
	全国	0.05	0.03	0.03	0.03	0.04		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.61	0.76	0.95	1.34	1.71	↗	
	全国	1.66	2.38	2.34	3.11	3.55		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.66	0.5	0.82	0.63	0.32	→	
	全国	0.94	0.91	1.05	1.02	1		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.03	0.01	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	0.42	1.58	0.75	1	1.08	→	
	全国	0.91	0.99	0.92	0.9	0.96		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	31	17	20		0		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.05	0.04	0.04	0.07	0.1		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.25	0.25	0.45	0.4	0.4	→	
	全国	0.3	0.31	0.22	0.24	0.23		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0	0	0	0.01		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↘ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↗ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）									(患者発生数)	
分類	疾病名	岩手県					全国			
		(週) 24	25	26	27	28	累計	28	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
二類 感染症	コレラ	0	0	1	0	0	1	1	27	
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	3	7	243	
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	32	
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	41	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	2	0	4	9	140	1128	
四類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	13	308	
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	18	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オウム病	0	0	0	0	0	0	2	29	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	1	150	
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	5	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	6	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	0	81	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	37	
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	10	549	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	2	
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	2	2	41	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	16	
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	5	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	0	94	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	9	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	2	18	
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	1	
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	梅毒	0	0	0	0	0	0	4	253	
	破傷風	0	0	0	0	0	1	2	44	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	28	
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マラリア	0	0	0	0	0	0	2	29	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	2		
レジオネラ症	0	0	1	0	0	1	3	70		
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0		

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

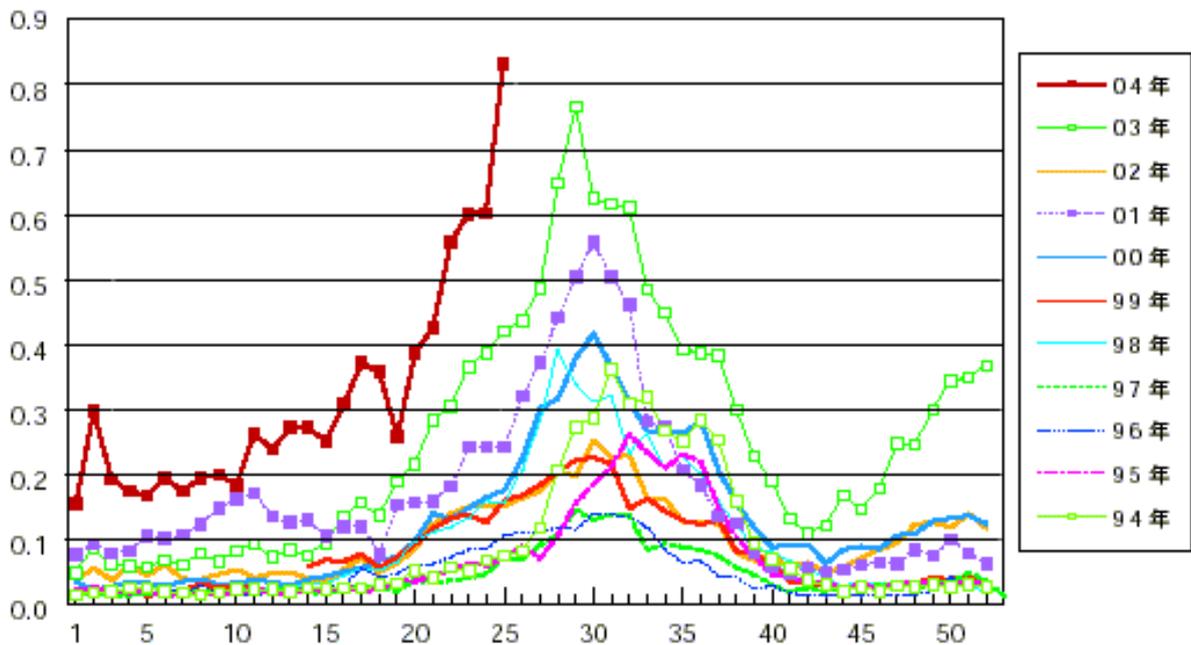
今注目の感染症

咽頭結膜熱

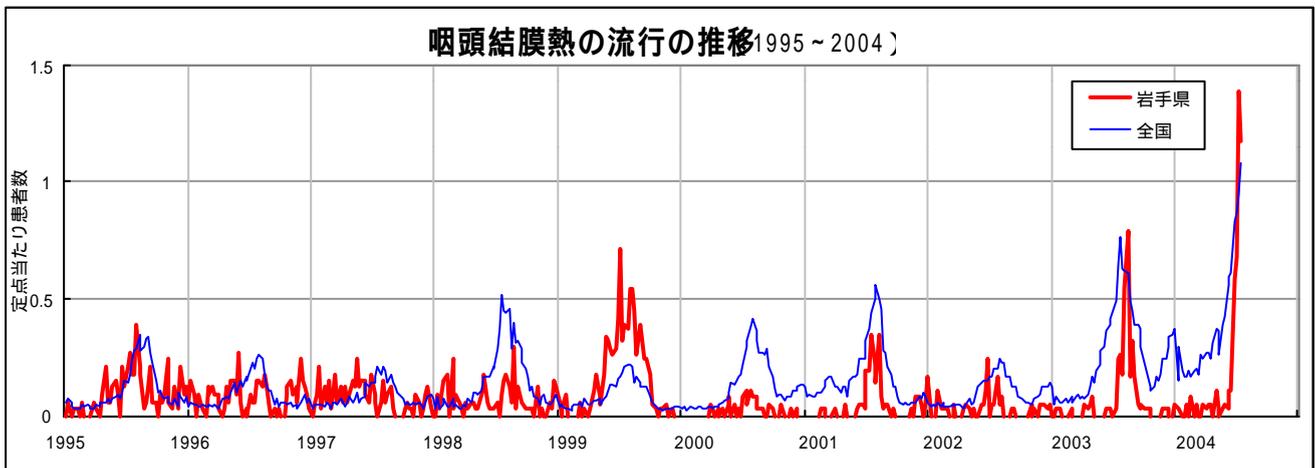
2004年の咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、過去10年間でも最も多かった昨年と比較しても、さらに多い状態で推移している。第25週では、過去10年間の全ての週と比較して最高値となった（図）。第25週に報告数の多かった都道府県は、富山県（2.1）、宮崎県（1.8）、島根県（1.7）、石川県（1.6）で、本年の累積定点当たり報告数が多いのは、宮崎県（28.4）、富山県（20.6）、福井県（19.0）である。

本疾患はアデノウイルスによる感染症で、発熱、咽頭炎、眼症状を主とする。プールでの感染もみられることからプール熱とも呼ばれる。夏季に流行する疾患であるが、2000年以降には、それ以前にはなかった冬季での増加傾向が見られ、特に昨年から本年にかけてその傾向が顕著であった。罹患年齢は従来から学童年齢が主とされるが、感染症発生動向調査による本年25週までの累積報告患者を年齢群別にみると、1～5歳の各年齢がそれぞれ13～16%で、5歳以下が全体の約80%を占めている。

咽頭結膜熱の流行の推移（全国）



（以上、IDWR2004年第25週から抜粋）



病原体検出情報

- ・上気道炎の患者の咽頭拭い液からアデノウイルス3型を10例、アデノウイルス5型を1例分離検出しました。
- ・上気道炎の患者の便からアデノウイルス3型を1例、アデノウイルス5型を1例分離検出しました。
- ・上気道炎の患者の咽頭拭い液から単純ヘルペスウイルス1型を1例分離検出しました。

集団感染情報

この週には集団感染情報はありません。

医療機関からの情報

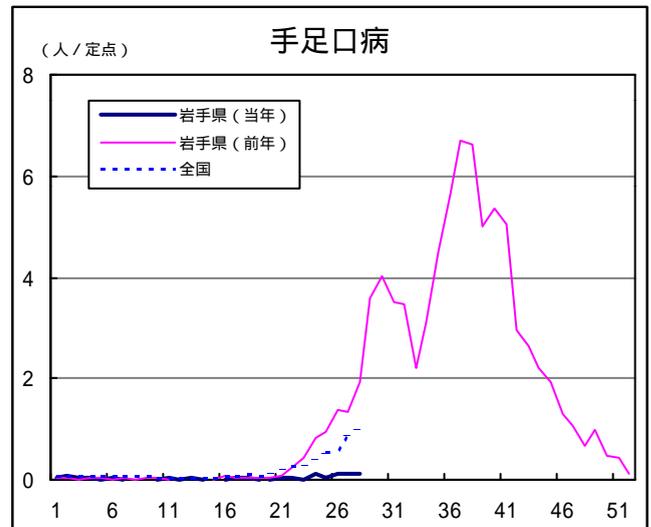
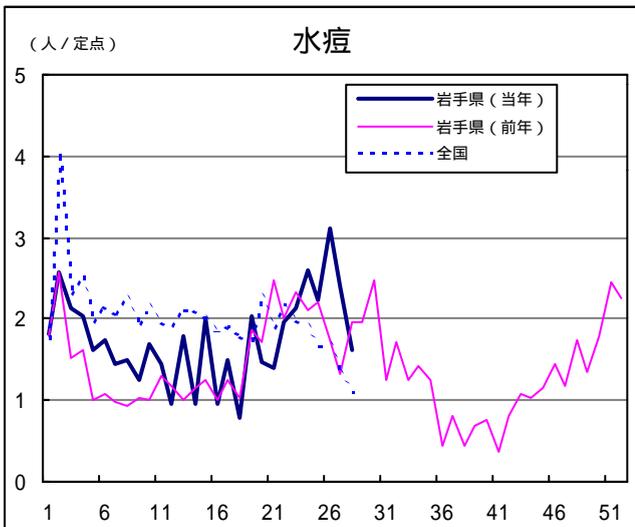
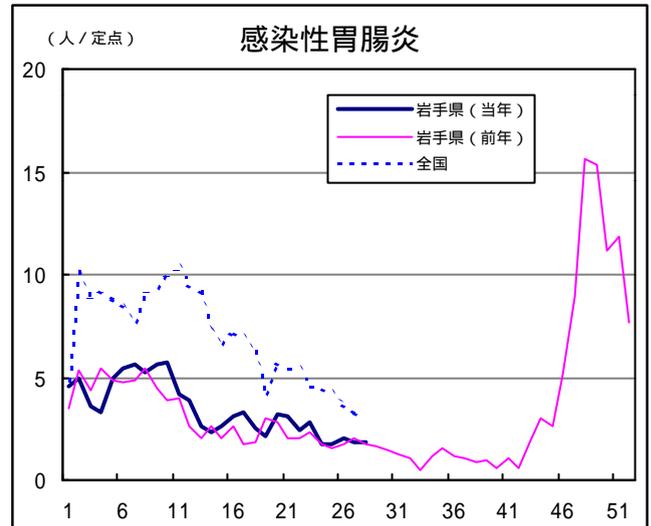
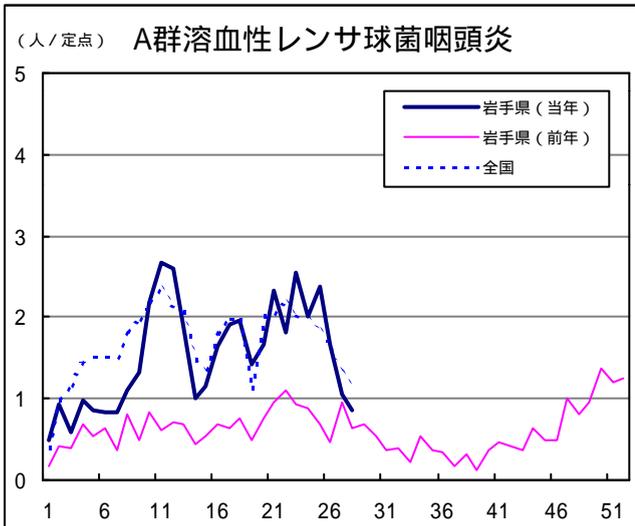
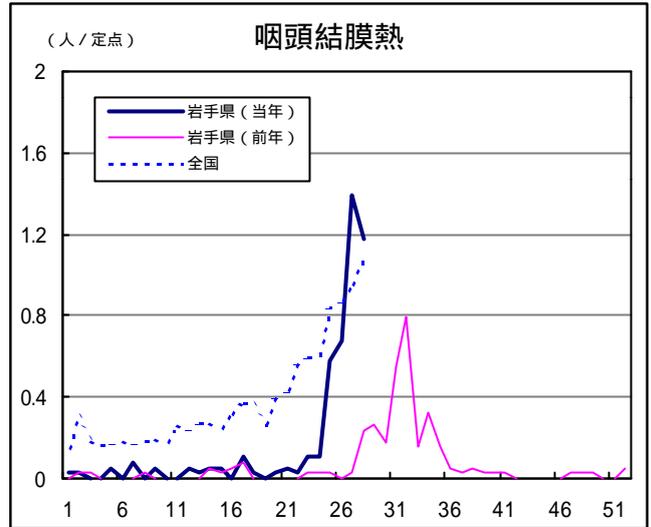
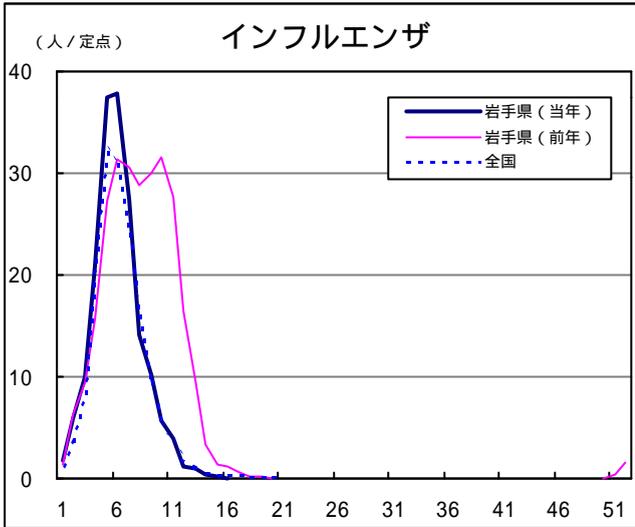
この週には医療機関からの情報はありません。

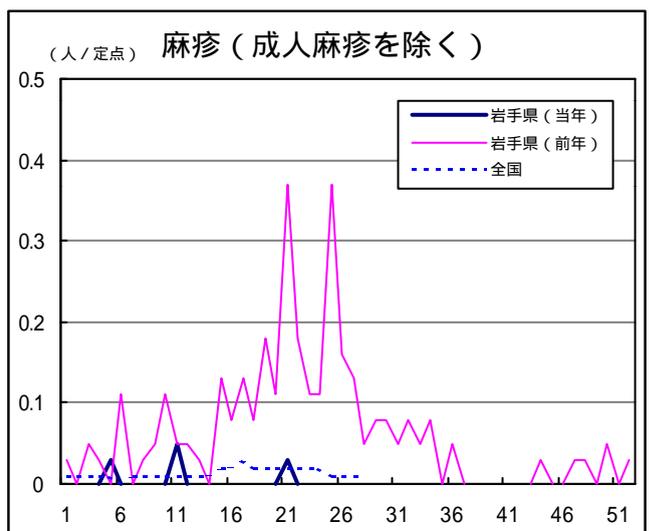
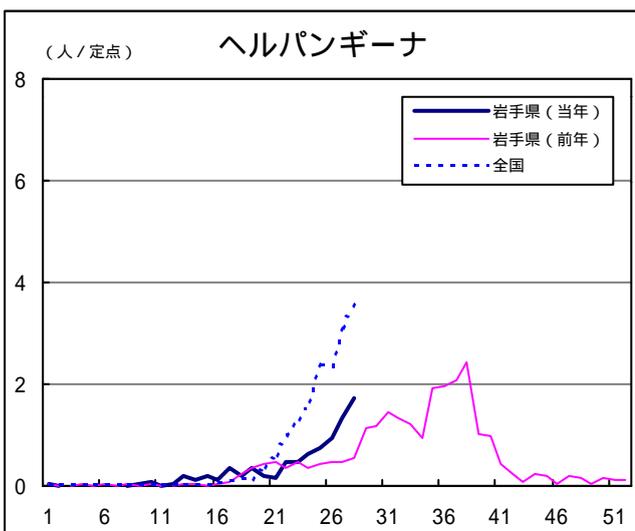
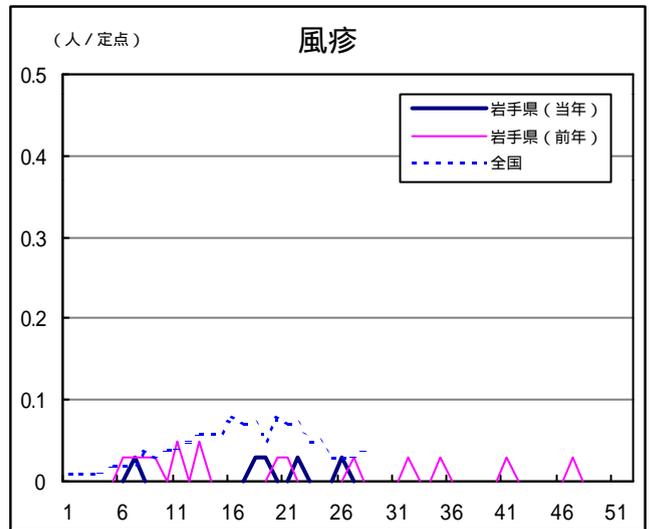
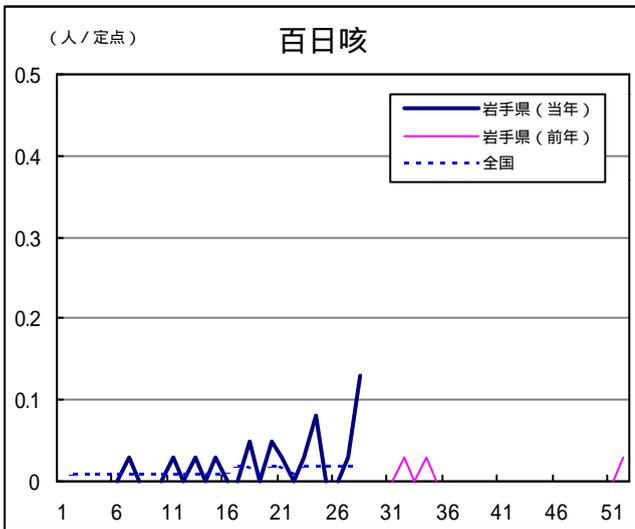
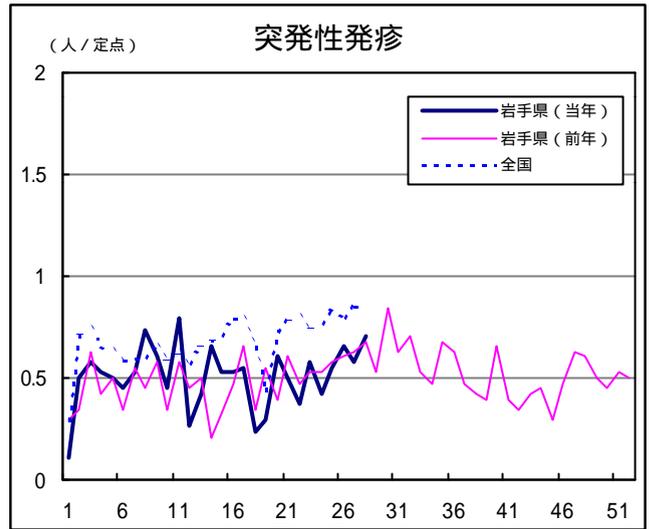
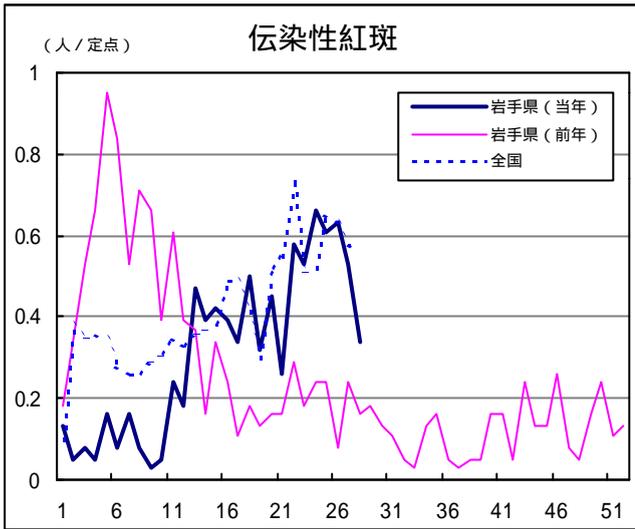
Q & A

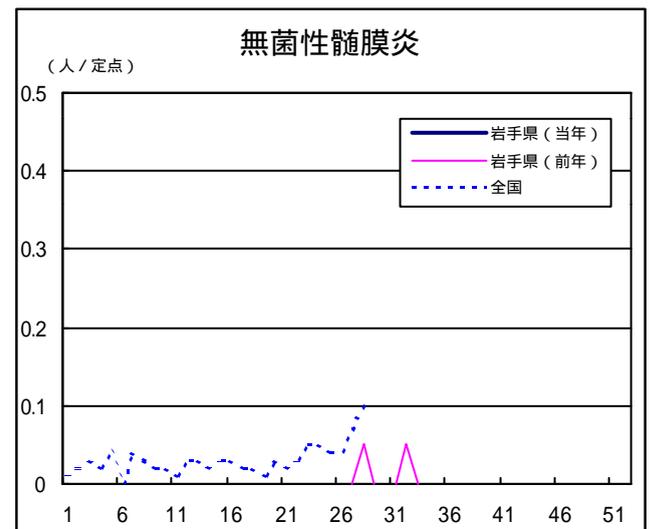
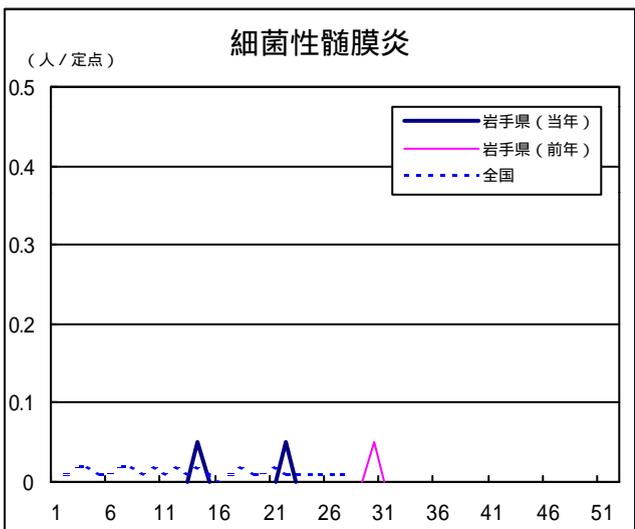
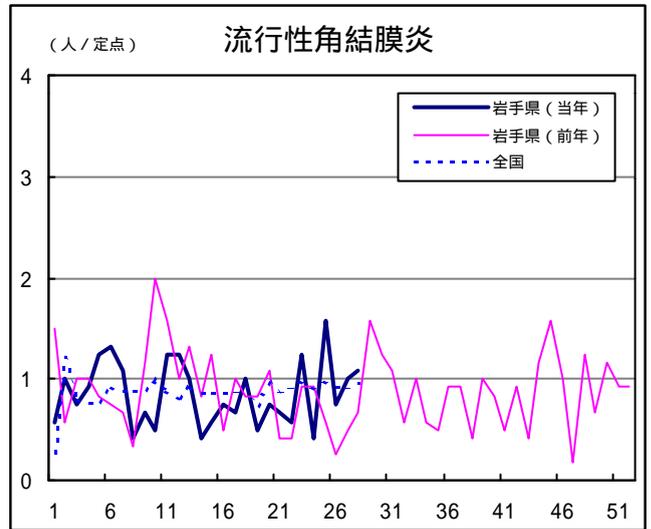
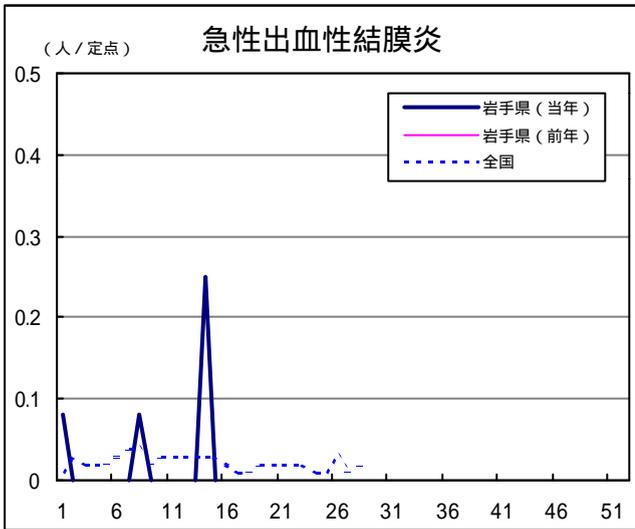
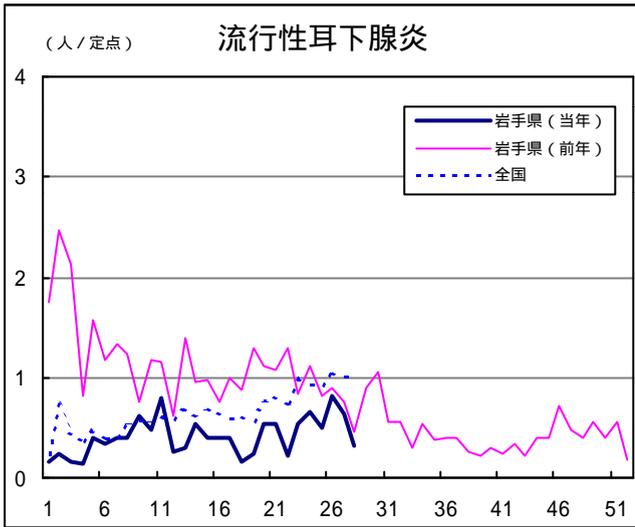
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

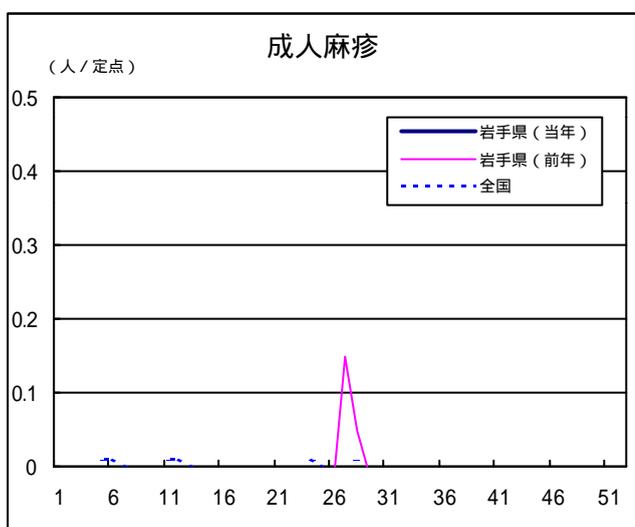
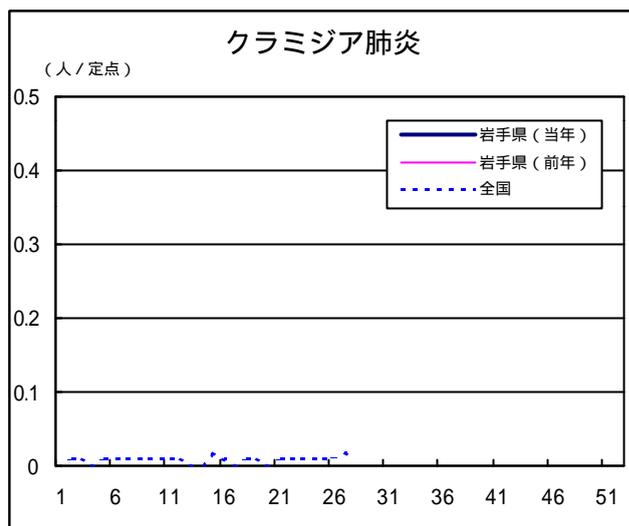
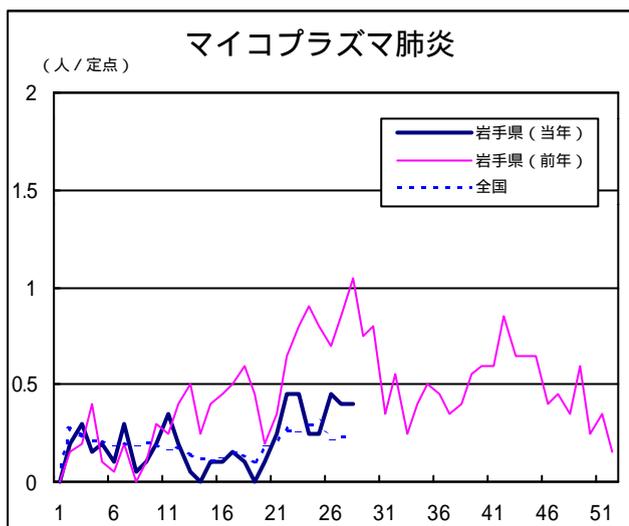
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成16年第28週 平成16年7月16日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>